2022 年度活動実績

「歴史家ワークショップ（HW）」では、**1 国際発信力強化、2 知識共有・ピアサポート、3 社会との成果共有**を活動の柱とし、各種イベントを東京大学教育研究経費、東京大学基金等の予算によって企画・運営しています。詳細につきましては、ウェブサイト https://historiansworkshop.org/ をご参照ください。

作成：2023 年 3 月 31 日

1｜国際発信力強化

リサーチ・ショウケース Research Showcase

リサーチ・ショウケースは、英語その他の外国語で学会発表に挑戦したいと考える研究者を応援するイベントです。発表者は事前に 900 語前後の発表原稿を準備し、その原稿に HW の協力者がフィードバックをします。イベント当日、発表者は専門をかならずしも共有しないオーディエンスに自身の研究を伝える 8 分間のプレゼンテーションと、7 分間の質疑応答をおこないます。また、参加者の投票により優秀発表者に賞を授与します。

2022 年度は、英語版 2 回とフランス語版 1 回を開催し、計 29 名が発表者として参加しました。2016 年度から大阪大学・京都大学・名古屋大学・東北大学等との共催で全国展開されてきた本シリーズは、2022 年度までの開催で総計 149 名の若手研究者に発表の機会を提供したことになり、その後の国際学会での受賞やテニュア・トラック・ポジションの獲得につながっています。発表原稿に対して事前にフィードバックを行う「レビューアーズ・カレッジ」にも、過去の発表者を中心に、のべ 19 名の若手研究者が参加し、コメントの仕方とともに、同僚・後輩との支え合いの大切さについて学びました。

なお、本シリーズは一般社団法人東京倶楽部の助成を受けて実施しています。

【企画・運営】古川萌・大西晋作（東京大学/歴史家ワークショップ事務局）

・第 15 回リサーチ・ショウケース
（2022 年 7 月 27・28 日、発表者 13 名／校閲者 6 名／参加者 35 名）オンライン
司会：古川萌　ゲスト・コメンテーター：久野愛（東京大学）

・第 16 回リサーチ・ショウケース
（2022 年 11 月 17 日、発表者 9 名／校閲者 9 名／参加者 30 名）ハイブリッド
司会：古川萌　ゲスト・コメンテーター：大石和欣（東京大学）

・第 2 回フランス語リサーチ・ショウケース
（2023 年 2 月 22 日、発表者 7 名／校閲者 8 名／参加者 35 名） ハイブリッド
司会・コメンテーター：：隠岐さや香（東京大学）

フロントランナー・シリーズ：多言語論文執筆セミナー Front Runner Series

フロントランナー・シリーズは、研究者が直面する「言語の壁」を認識し、乗り越えることを目指す場です。登壇者には様々な言語での論文・博士論文・単著などの執筆経験だけでなく、執筆における苦労や執筆を通じて得た学び、さらには様々な言語で執筆するに至った経緯や留学・国際学会での体験などをざっくばらんにお話ししていただきます。

本シリーズは、大学院生たちの企画・運営・ファシリテーションによって 2020 年度にスタートし、2022 年度は計 4 回開催しました。

【企画・運営】藤井碧・藤本大士・森江建斗（京都大学）

・フロントランナー・シリーズ 12
（2022 年 7 月 5 日、参加者 38 名）ハイブリッド
司会：藤本大士、森江建斗　講師：松田ヒロ子（神戸学院大学）

・フロントランナー・シリーズ 13
（2022 年 9 月 8 日、参加者 43 名）ハイブリッド
司会： 藤本大士、森江建斗　講師：周雨霏（帝京大学）

・フロントランナー・シリーズ 14
（2022 年 10 月 12 日、参加者 16 名）オンライン
司会：藤井碧　講師：舘葉月（武蔵大学）

・フロントランナー・シリーズ 15
（2022 年 12 月 1 日、参加者 25 名）オンライン
司会：森江建斗　講師：金澤周作（京都大学）

英文校閲ワークショップ

英文校閲ワークショップは、英語で書かれた参加者の原稿を対象として、「読みやすさ」とその背景にある「ロジック」を読み解き、校閲スキルを磨くことで、質の高い推敲を自力で始められるようにすることを目指します。本シリーズで推敲を受けた原稿は、すでに海外の雑誌に受理され、国際学会にて発表されています。各地で歴史的アプローチを用いて研究に取り組む大学院生・研究者に開かれたトレーニングの機会を提供することで、比較的規模の小さな研究領域でも国際化に必要な切磋琢磨が可能となっています。

2022 年度は原稿検討会を 3 回開催し、書籍化の作業を進めました。

【企画・運営】山本浩司（東京大学）、安平弦司（日本学術振興会／武蔵大学／ユトレヒト大学）

・原稿検討会
（2022 年 4 月 14 日～9 月 21 日、全 3 回、参加者各回平均 4 名／のべ 12 名）オンライン

国際シンポジウム

歴史家ワークショップでは、国内外の研究者をお呼びする国際シンポジウムを積極的に主催・共催しています。最新の歴史研究を広く共有する場をつくるとともに、若手歴史研究者がみずからの関心事に沿ってシンポジウムを企画する機会も提供しています。

＊2022 年度は開催しませんでした。

2｜知識共有・ピアサポート

コーヒータイム・シリーズ Coffee Time Series

コーヒータイム・シリーズは、研究の楽しさ、研究にまつわる悩みなどを気軽に共有し助け合える場を作ろうと、国内外の博士課程に在籍する大学院生が中心となって 2020 年度より企画・運営しているオンライン・イベントです。孤独になりがちな大学院生・研究者が分野を横断して集まり、アカデミアの外の人たちとも人間的なつながりを構築することを目的としています。2022 年度は、本シリーズを計 3 回開催しました。

【企画・運営】北川涼太（広島大学）、新田さな子（京都大学）、村山木乃実（日本学術振興会）、纓田宗紀（アーヘン工科大学）、槙野翔（トリニティ・カレッジ・ダブリン）、赤﨑眞耶（ポール・ヴァレリー（モンペリエ第三）大学）、市川佳世子（慶応義塾大学）、大津谷馨（リエージュ大学）、篠田知暁（東京外国語大学）、藤田風花（京都大学）

・Coffee Time Series 9「研究にまつわる悩み・望みの分かち合い」
（当事者ミーティング）
（2022 年 6 月 24 日、参加者 14 名）
司会： 北川涼太

・Coffee Time Series 10「海外での研究活動：コロナ禍での留学、海外調査を通して」
（2022 年 8 月 2 日、登壇者 3 名／参加者 30 名）
司会：新田さな子　発表者：後藤真実（ニューヨーク大学アブダビ校）、中辻柚珠（京都大学）、槙野翔

・Coffee Time Series 11「アカデミック・ハラスメントの予防と対応」
（2022 年 11 月 9 日、登壇者 3 名／参加者 24 名）
司会：村山木乃実、纓田宗紀　講師：北仲千里（広島大学）

スキル・ワークショップ

歴史研究は個々の研究室に伝わるメソッドや個人の経験に頼るところが多く、アカデミア内で共有されることは多くありません。しかし、論文の書き方、出版への道筋、学会参加時の注意点などなど、歴史研究者がかならず通る道に関する知識やノウハウは、大学や所属先のちがいを超えて共有すべきものでしょう。そうした現状を踏まえ、スキル・ワークショップでは、若手歴史研究者向けのさまざまなワークショップや講演会を企画・運営しています。2022 年度は、2 件のイベントを開催しました。

【企画・運営】ジェンダー史：八谷舞（亜細亜大学）、中込さやか（立教大学）、歴史地図：古川萌（東京大学）、吉田瞳（京都大学）

・「ジェンダー史の教え方」＊ジェンダー史勉強会との共催イベント
（2022 年 4 月 28 日、登壇者 4 名、参加者 103 名）
登壇者：八谷舞、中込さやか、藤野裕子（早稲田大学）、山本浩司（東京大学）

・「GIS で歴史地図を描く」
（2022 年 11 月 10 日、参加者 120 名）
登壇者：加納靖之、大邑潤三（東京大学）　司会：吉田瞳（京都大学）

3｜社会との成果共有

パブリック・エンゲージメント

一般参加者に「研究者の問題関心」を知ってもらうとともに、最新の歴史研究の知見を社会に還元するため、参加型ワークショップや連続講座などを企画・開催しています。

2022 年度は、研究者とビジネス・パーソンのあいだの架け橋を築く連続セミナーシリーズ「困難の時代に歴史を学ぶ・歴史から学ぶ アカデミア×ビジネス」（Warm Heart Cool Head との共催イベント）を計 3 回、そしてエンターテイメントを通した歴史との関わり方に着目する「ウラガワ！」を開催しました。

なお、本シリーズは主に東京大学の HW 支援基金を通した寄附金によって実施しています。

【企画・運営】困難の時代に歴史を学ぶ・歴史から学ぶ アカデミア×ビジネス：山本浩司、山崎大祐（Warm Heart Cool Head）、ウラガワ！：古川萌（東京大学）、新田さな子・吉田瞳（京都大学）

・困難の時代に歴史を学ぶ・歴史から学ぶ アカデミア×ビジネス VOL.01 ビジネスは社会課題を解決できるのか
（2022 年 10 月 12 日、登壇者 5 名／参加者 103 名）
登壇者：山本浩司、鎌田恭幸（鎌倉投信）、谷本有香（Forbes JAPAN）、古川萌　司会：山崎大祐

・困難の時代に歴史を学ぶ・歴史から学ぶ アカデミア×ビジネス VOL.02 何が〈名画〉を作るのか
（2022 年 12 月 7 日、登壇者 5 名／参加者 98 名）
登壇者：古川萌、青木耕平（クラシコム）、森啓子（エフアイシーシー）、山本浩司　司会：山崎大祐

・困難の時代に歴史を学ぶ・歴史から学ぶ アカデミア×ビジネス VOL.03 五感と歴史— エステティック・キャピタリズムを通して
（2023 年 2 月 8 日、登壇者 4 名／参加者 87 名）
登壇者：久野愛（東京大学）、ハヤカワ五味（ウツワ）、山崎大祐　司会：山本浩司

・『セシルの女王』のウラガワ！
（2023 年 3 月 3 日、登壇者 5 名／参加者 103 名）オンライン
登壇者：指昭博（神戸市外国語大学）、こざき亜衣、生川遥（小学館）　司会：新田さな子（京都大学）、吉田瞳（京都大学）

共催・協力イベント、その他

（アートドキュメンテーション学会との共催）
・第 140 回デジタルアーカイブサロン
（2023 年 3 月 17 日、登壇者 2 名／参加者 30 名）ハイブリッド
登壇者：古川萌

（日本科学未来館に協力）
・**「科学とジェンダーステレオタイプ～未来の科学をどうつくる？」**
（2022 年 10 月 8 日、登壇者 4 名）ハイブリッド
登壇者：山本浩司

以上のイベント開催に加え、2022 年はロゴマークを新たに作成するとともに、公式ウェブサイトを全面的に刷新しました。組織全体の見取り図や、これから開催されるイベントがこれまでより把握しやすくなっています。同時に、代表メールアドレス（お問い合わせ先窓口）を変更しました。info@historiansworkshop.org

さらに、HW の取り組みをより多くの皆さまに知ってもらうための試みとして、以下のようなリーフレットを作成しました。主催イベントで来場者の皆様に配布しているほか、東京大学本郷キャンパスの UTCC（東京大学コミュニケーションセンター）等にも配架しています。

メディア掲載：2023 年 2 月 2 日付 プレジデントオンライン「それっぽい「ウソの歴史」を参考にするとヤバい … 東大准教授の「英国の石鹸の話」に若手経営者が感動したワケ」

メーリングリスト登録者数：2022 年 4 月以降 318 名増、計 959 名（2023 年 3 月 31 日現在）

寄附への御礼

2022 年度はのべ 52 名の皆さまより総額 543,898 円のご寄附をいただきました。記してここに御礼申し上げます。